

つるおか

市議会

令和7年

3月定例会号

●R7.5.1発行

Vol.83

だより



シルクガールズコレクション

2月23日に、荘銀本店ホールで鶴岡中央高校シルクガールズのファッションショーが開催されました。

シルクガールズは、シルクを用いて製作したドレスなどを披露するファッションショーを毎年開催し、鶴岡産シルクの魅力発信に取り組んでいます。

定例会の概要	P 2
議案一覧	P 3
定例会のポイント	P 4
委員会審査	P 6
総括質問	P 8
一般質問	P 11

3月定例会の概要

令和7年度予算、
6年度補正予算など
58件を審議

3月定例会は、3月4日に開会し、市当局が46件の議案を提出しました。請願4件については、所管の常任委員会に付託しました。

上程された議案・請願は、総括質問、委員会審査などの後、議員提出の意見書3件を含め審議し、23日間の会期を経て、3月26日に閉会しました。
(議案・請願・意見書の内容と審議結果は3〜4頁)

市当局が7年度予算を含む議案46件を提出

開会初日は、市当局が予算議案13件、条例議案20件、事件議案13件、計46件の議案を提出し、各会派を代表して8人の議員が総括質問を行いました。
(質問内容は8〜10頁)

予算特別委員会を開催 6年度補正予算議案を審査

開会2日目に、予算特別委員会を開催し、付託された予算議案のうち、6年度補正予算議案4件について審査を行いました。提案説明の後、質疑を行い、表

決の結果、全員賛成で可決しました。

22人が一般質問

3月6日、7日、10日の3日間、22人の議員が市当局に対し、市政全般について一般質問を行いました。
(質問内容は11〜15頁)

6年度補正予算議案を可決 給食センター整備事業を集中審査

11日の本会議では、予算特別委員長が補正予算議案についての審査報告を行い、表決の結果、議第3号から議第6号までの4件を全員賛成で可決しました。

本会議終了後に、予算特別委員会を開催し、7年度予算議案9件についての提案説明の後、

新学校給食センター整備事業関連予算の集中審査を行いました。
(集中審査の内容は4頁)

その他の議案については、各分科会に分割付託しました。

各常任委員会を開催 条例・予算議案等を審査

12日に総務、13日に市民文教、14日に厚生、17日に産業建設の各常任委員会を開催しました。常任委員会では、付託された条例及び事件議案の審査を行い、引き続き、予算特別委員会分科会として、予算議案の審査を行いました。
(審査内容は6〜7頁)

また、市民文教、厚生及び産業建設常任委員会では、付託された請願の審査を行いました。

議案の訂正を承認、請願3件を採択 予算特別委員会で分科会報告

25日の本会議では、市当局が議第7号について訂正案を提出し、提案説明の後、質疑を行い、表決の結果、全員賛成で承認しました。

次に、意見書提出を求める請願3件について、各所管の常任委員長が審査報告を行いました。請願第1号及び請願第4号については、表決の結果、全員賛成

で採択、請願第2号については、討論の後、表決の結果、賛成多数で採択としました。

本会議終了後に開催した予算特別委員会では、初めに、各分科会委員長が7年度一般会計予算議案の審査報告を行いました。続いて、委員提出の修正案について質疑を行い、討論の後、表決の結果、修正案を賛成多数で、修正議決した部分を除く原案を全員賛成で可決しました。
(修正案の内容は5頁)

最後に、各分科会委員長が7年度特別会計及び企業会計予算議案の審査報告を行い、表決の結果、全員賛成で可決しました。

意見書3件を可決 7年度予算議案1件を修正可決

最終日の26日、議員提出の意見書3件を審議し、議会第1号及び議会第2号は表決の結果、全員賛成で可決、議会第4号は賛成多数で可決しました。

次に、予算特別委員長が議第7号についての審査報告を行い、討論の後、表決の結果、修正案を賛成多数で、修正議決した部分を除く原案を全員賛成で可決しました。

続いて、各常任委員長が条例及び事件議案、予算特別委員長

が7年度予算議案(議第7号を除く)の審査報告を行い、表決の結果、議第8号から議第48号までの41件は全員賛成で可決しました。

次に、厚生常任委員長が請願第3号の審査報告を行い、討論の後、表決の結果、賛成少数で不採択としました。

次に、追加議案として、市当局が議第49号から議第52号までの4件を提出し、質疑の後、表決の結果、全員賛成で可決及び同意しました。

最後に、議会提出の議会第3号を審議し、表決の結果、全員賛成で可決しました。

人事案件の結果

人権擁護委員候補者

庄司 敏明氏(末広町)
田村 廣実氏(羽黒町手向)
加藤 孝夫氏(大部町)
蓮池 昇氏(下山添)
清野美智子氏(大網)
加藤 完治氏(羽黒町松尾)
小鷹 真也氏(八色木)
五十嵐順子氏(板井川)
佐藤 由美氏(山五十川)
中野 恵氏(茅原町)

教育委員会教育長

成澤 和則氏(渡前)

▼市長提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第3号	令和6年度鶴岡市一般会計補正予算(第8号)	予算特別	可決 (全員賛成)
議第4号	令和6年度鶴岡市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)	予算特別	
議第5号	令和6年度鶴岡市水道事業会計補正予算(第1号)	予算特別	
議第6号	令和6年度鶴岡市下水道事業会計補正予算(第3号)	予算特別	
議第7号	令和7年度鶴岡市一般会計予算	予算特別	修正可決 (賛成多数)
議第8号～議第12号	令和7年度鶴岡市特別会計予算	予算特別	
議第13号	令和7年度鶴岡市病院事業会計予算	予算特別	
議第14号	令和7年度鶴岡市水道事業会計予算	予算特別	
議第15号	令和7年度鶴岡市下水道事業会計予算	予算特別	
議第16号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	総務	
議第17号	鶴岡市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	総務	
議第18号	鶴岡市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	総務	
議第19号	鶴岡市職員恩給条例の廃止について	総務	
議第20号	町村職員恩給組合法施行令第25条第1項第2号又は第3号に該当する者の恩給に関する条例の廃止について	総務	
議第21号	鶴岡市市営バス設置及び管理条例の一部改正について 朝日地域における公共交通の再編に伴い、田麦俣線及び大鳥線を廃止するもの	総務	
議第22号	鶴岡市個人番号の利用に関する条例の一部改正について	総務	
議第23号	鶴岡市個人番号の利用に関する条例等の一部改正について	総務	
議第24号～議第26号	財産の取得について(除雪ドーザ)	総務	
議第27号	財産の取得について(除雪グレーダ)	総務	
議第28号	財産の取得について(小形除雪車)	総務	
議第29号	財産の取得について(ロータリ除雪車)	総務	
議第30号	庄内広域行政組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について 東北公益文科大学の公立化に当たり、公立大学法人の設立のための事務を庄内広域行政組合の共同処理する事務に追加するもの	総務	可決 (全員賛成)
議第31号	鶴岡市過疎地域持続的発展計画の一部変更について	総務	
議第32号	中川代辺地に係る総合整備計画の策定について	総務	
議第33号	川代山辺地に係る総合整備計画の策定について	総務	
議第34号	鶴岡市犯罪被害者等支援条例の制定について	市民文教	
議第35号	財産の取得について(中学校教師用教科書及び指導書)	市民文教	
議第36号	鶴岡市湯野浜公衆浴場設置及び管理条例の一部改正について	厚生	
議第37号	鶴岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	厚生	
議第38号	鶴岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	厚生	
議第39号	鶴岡市藤島総合交流促進施設設置及び管理条例の一部改正について	厚生	
議第40号	鶴岡市櫛引温泉入浴施設設置及び管理条例の一部改正について	厚生	
議第41号	指定管理者の指定について(鶴岡市高齢者福祉センターおおやま)	厚生	
議第42号	鶴岡市手数料条例の一部改正について	産業建設	
議第43号	鶴岡市やまぶし温泉ゆぽか設置及び管理条例の一部改正について	産業建設	
議第44号	鶴岡市給水条例の一部改正について	産業建設	
議第45号	鶴岡市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	産業建設	
議第46号	鶴岡市公共下水道条例の一部改正について	産業建設	
議第47号	鶴岡市集落排水処理施設条例の一部改正について	産業建設	
議第48号	指定管理者の指定について(月山レストハウス)	産業建設	
議第49号	令和6年度鶴岡市一般会計補正予算(第9号)	省略	同意 (全員賛成)
議第50号	道路照明灯LED化改修業務に関する委託契約の締結について	省略	
議第51号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	
議第52号	鶴岡市教育委員会教育長の任命について	省略	

▼議員提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議会第1号	国による学校給食費の無償化を求める意見書の提出について	省 略	可 決 (全員賛成)
議会第2号	食料自給率向上及び米の生産と需給安定対策を求める意見書の提出について	省 略	
議会第3号	鶴岡市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	省 略	
議会第4号	訪問介護の基本報酬引下げの撤回を求める意見書の提出について	省 略	可 決 (賛成多数)

▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第1号	国による学校給食の無償化を求める意見書の提出に関する請願	市民文教	採 択 (全員賛成)
請願第2号	訪問介護の基本報酬引下げの撤回を求める意見書の提出に関する請願	厚 生	採 択 (賛成多数)
請願第3号	訪問介護事業所に対する支援を求める請願	厚 生	不採択 (賛成少数)
請願第4号	食料自給率向上及び米の生産と需給安定対策を求める意見書の提出に関する請願	産業建設	採 択 (全員賛成)

3月定例会のポイント

新学校給食センター整備事業 議案の訂正を承認

新学校給食センターの整備基本計画については、2月14日の市議会への主要事項説明会で、「調理・配送・維持管理等は民間に委託する」と説明があり、同内容でパブリックコメント（意見公募）も開始していました。

しかし、定例会初日の総括質問で、市長が同計画の「調理業務を民間委託する」という記載を見直すと答弁したことから、予算特別委員会市民文教分科会（委員6人）で審査を予定していた同センター整

備事業関連の予算を、全議員で集中審査しました。

市当局は、集中審査での質疑及びパブリックコメントの結果を踏まえ、同計画の6年度内の策定を見送ることとし、7年度予算案のうち債務負担行為2件（学校給食センター設計建設・維持管理事業者選定支援業務委託契約及び学校給食センター整備用地取得）を削除するなどの議案の訂正を申し出ました。

25日の本会議では、議案の訂正について全員賛成で承認しました。

集中審査での質疑の一部を紹介します

問 6年度に約1,100万円をかけて実施したPFI（※）導入可能性調査の成果をどう考えているか。

答 本市では、一定規模以上の事業については同調査を実施することとしている。調査によって、設計と建設、維持管理を一体的に民間委託した方がいいことがはっきりと分かった。調理業務の民間委託についても検討したが、議会や市民から様々な意見があり、このまま進めることは適切でないと判断した。

問 調理業務は民間委託をしないのか。

答 民間委託を全く考慮しないということではない。

問 旧町村地域のセンターを含め配送エリアを見直せば、鶴岡センターの規模は縮小することも可能と考えるが、新学校給食センターの整備を総合的に見直す考えは。

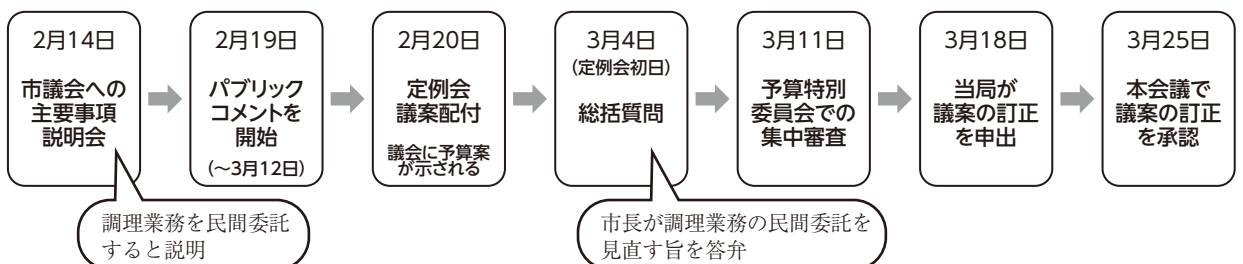
答 旧町村地域のセンターをどう扱っていくかは検討課題であるが、老朽化した鶴岡センターの改築は急ぐ必要があり、施設規模については更に精査して、整備を進めていきたい。



改築予定の鶴岡センター（白山）

※ PFI…Private Finance Initiative。民間の資金と経営能力・技術力を活用し、公共施設等の建設や維持管理等を行う公共事業の手法。

議案の訂正の承認に至るまでの経過



ソライ利用料軽減事業補助金を削除し、7年度予算案を修正

7年度当初予算案に、株式会社SHONAIが運営する屋内遊戯施設キッズドームソライの利用料軽減事業補助金（概要は下記）が計上されました。

しかし、民間施設に対する公的支援における公平性の観点等から、3月25日の予算特別委員会で委員が同事業補助金を削除し、予備費に組み替える修正

案を提出しました。質疑・討論の後、表決の結果、賛成多数で可決しました。

26日の本会議では、この予算特別委員会で修正された予算案について、討論の後、表決の結果、賛成多数で可決しました。

ソライの利用料

- ・ 0歳 無料
- ・ 1歳 500円
- ・ 2歳 700円
- ・ 3歳以上 1,500円
- ・ 引率者 500円
(7年4月現在)



事業案の概要 (事業補助金 約2,478万円)

- 市民に限り
- ・ 小学生まで 無料
- ・ 中高生 500円
- ・ 引率者 無料
(1人まで)

削除



キッズドームソライ(北京田)

〈修正案提案理由〉

ソライ利用料軽減事業の実証事業費を計上した6年度予算案に対し、議会は、実質的に一民間事業者に対する公的支援となることを懸念し、附帯決議を付している。このときに懸念された一民間事業者への公的支援になっていることが、修正案を提出した一番の理由である。

この事業は、民間事業者が所有し運営する施設であるソライの利用料が高いという子育て世代の声を背景としている。利用者からすれば、民間施設・公共施設にかかわらず、利用料金の軽減を求めるのはごく自然であるが、問題は、行政が民間施設の事業運営に対して公的支援を行うことの影響や、類似する施設への影響などを内部で協議した形跡がないことである。

今後の対応として、未利用施設を活用した地域分散型の遊び場整備と、民間施設に対する公平な支援の検討を求める。



討論

表決の前に、賛成か反対かの意見を表明します。
以下に、討論の要旨を掲載します。



原案に賛成(修正案に反対)

- ・ この事業は、市民の施設利用に対する補助であり、直接ソライの運営に補助するものではない。市が大型屋内遊戯施設を建設する見通しが立たない現状では、既存の施設を利用し、スピード感を持った子育て支援をすべきである。
- ・ 県内他市には、公設民営で無料の屋内遊戯施設があり、鶴岡市民の利用も多い。民設民営の屋内遊戯施設の利用料金を自治体が補助している例もあり、公益的なサービスを官民連携で創ることは重要である。
- ・ この事業は、こどもの遊び場に関する協議会や鶴岡市子ども会議等、また、議会が行った市民との意見交換会で、子どもたちや保護者、有識者から出された意見を反映したものである。

修正案に賛成

- ・ このような補助は、民間や自治会で運営している他の施設でも要望しているが、この事業は、ソライの利用者のみが補助を受けられるということであり、公的資金の投入については、公平性の観点から疑問が残る。
- ・ ソライ限定の補助事業とするなら、利用する人とならない人との不公平感が生じることから、経費のうち、受益者負担として、ソライの利用者が負担する部分と、税金で賄う部分を明確にして、市民の理解を得ることが肝要である。
- ・ ソライの建設時に、市は2億円を補助しているが、これを疑問視する声もある。以前、市はソライの経営を支援しない方針を示していたが、この事業は、経営支援につながるのではないかと懸念がある。

委員会審査

提案された議案をそれぞれ所管の委員会に付託して審査します。審査の主なものを掲載します。

総務

新朝日庁舎の特色は

委員 新庁舎に市民が集えるスペースを設けるとのことだが概要は、**朝日庁舎総務企画課長** 新庁舎は、令和7年6月30日の開所を予定している。庁舎1階に市民が予約不要で自由に使える、WiFiを完備した50畳ほどの多目的スペースを設置する計画である。このスペースは、バスの待ち時間や中高生の勉強、簡単な打合せなどでの使用を想定している。



新朝日庁舎の多目的スペース内観

食とバイオの新産業を創出する取組は

委員 地方大学・地域産業創生事業において、納豆菌粉（※1）を用いた新食材の開発を目指すよう

だが、産業化におけるリスクは。**政策企画課長** 納豆菌粉は、世界的にタンパク質の不足が予想される中、生産効率が高く、高タンパクな食糧として可能性を秘めている。産業化におけるリスクとして安全性の問題が考えられるが、事業者も配慮しており、遺伝子組換えやゲノム編集等による開発・生産は行わないことを確認している。この事業では、地元企業から様々な提案を受け、納豆菌粉以外の事業を含め、広く取り組んでいきたい。



納豆菌粉



納豆菌粉で作ったパン

タクシーピークシフト 実証事業とは

委員 事業の内容や進め方は、

地域振興課長 この事業は、運転

手不足対策として実施するもので、現在、タクシーの利用は、高齢者の通院時間帯である午前

午後の時間帯は比較的空いている。このような課題を受けて、7月から9月までの期間限定で、高齢者

や妊婦の方が、午後の時間帯にタクシーを利用する場合、運賃を10%割引する実証実験を行うもので、これにより1日の利用の平準化を目指す。

市民文教

犯罪被害者等を支援するための条例とは

委員 国の要請と犯罪被害者等基本法の規定に基づき、犯罪被害者等支援条例の制定に至ったと認識しているが、運用に当たり、国の補助等はあるのか。

市民課長 犯罪被害者等への財政的支援について、遺族見舞金として30万円、重傷病見舞金として10万円を支給する見舞金支給要綱の制定を予定しているが、この金額は、各自治体の裁量で定めることとなっており、国からの補助等はない。なお、見舞金の額は、当該条例を制定済みの県内自治体と同額で設定している。

消防用通信指令設備の更新内容は

委員 新たに導入する設備はどのようなものか。

通信指令課長 通信指令設備は、災害等を感知し、迅速かつ的確に

消防救急活動を実施するための中核をなすものである。現在の設備は、導入から約14年を経過するところから、全面更新を実施する。また、更新に合わせて、新たに「映像伝送システム（Live119）」の導入を計画している。当該システムは、通報者の同意を得た上で、スマートフォンにより、災害現場等と消防署からの映像データの送受信を可能にするものである。



空き家対策事業におけるモラルハザードへの対応は

委員 市が空き家対策事業を推進することで、所有者のモラルハザード（※2）の助長が懸念されるが、どのように対応していくのか。

環境課長 7年度に、調査を実施した上で、管理不全の空き家所有者に対しては、指導や勧告を行う予定である。指導等を受けた後も適正な管理が行われない場合は、住宅用地特例の解除等を行い、固定資産税等の減免措置を取り消すことで、モラルハザードを防止していきたい。

※1 納豆菌粉…納豆を作るのに欠かせない納豆菌を培養して粉末状にしたもの。

※2 空き家に対するモラルハザード…放置された空き家に対する所有者責任の放棄や無関心、また、行政等が対応することで空き家への注意が薄れること。

厚生

ひきこもり支援事業の内容は

委員 同事業の委託料として新規に1,140万円が計上されているが、その内訳は。また、委託先には臨床心理士等の専門的人材の配置が必要と思うがどうか。

福祉課長 相談窓口や居場所の提供に関して委託する事業で、予算の内訳は、事業所の家賃、車両経費で約180万円、事務費、通信費で約90万円、専門職であるひきこもり支援コーディネーターの人員費で約428万円、また、サポートする2人分の人件費を約345万円として計上している。委託先には、指導的立場で伴走支援できる専門人材がいる団体を考えている。

在宅介護サービス事業者に対する支援の内容は

委員 新規に予算計上されているこの支援事業の概要と、国の補助制度の有無は。また、周辺自治体における実施状況は。

長寿介護課長 遠隔地に訪問して介護サービスを提供する事業所に対し、片道15kmを超える分のガンリン代と人件費の一部を補助する

ものである。現時点で国や県の補助制度はなく、本市のように広大な市域を抱える自治体は周辺にないことから、実施している自治体もないと認識している。

くしびき温泉ゆ〜Townの施設維持費は

委員 源泉井戸の改修工事費として、3,680万円が計上されているが、この中に掲揚ポンプの交換費用は含まれているのか。また、ポンプの交換頻度は。

節引庁舎市民福祉課長 掲揚ポンプの引揚げと再設置に約350万円かかり、この費用は当該工事費に含まれている。ポンプ交換は、4年に1度実施する必要がある。



くしびき温泉ゆ〜Town

産業建設

インバウンド関連予算の規模は

委員 観光振興を担うDEGAM

の予算が減額されているが、インバウンドに十分対応できるのか。また、その対応方針は。

商工観光部長 市のインバウンド対応予算は、DEGAM以外にも盛り込んでおり、全体としては減額となっていない。本市への外国人観光客の国別割合は、欧米豪が6割、台湾等アジアが4割である。そのうち、欧米からの観光客の多くは、出羽三山に関心が高い一方、台湾からの団体ツアーは温泉地を訪れるといった傾向があり、国別に対応することでインバウンド事業の効果は高くなると考える。

地域住宅リフォーム支援事業の新たな枠組みとは

委員 中心市街地の空き家をリフォームする移住世帯等に対する補助金について、新たな枠を設定するとしているが、その内容とねらいは。

建築課長 移住世帯が空き家をリフォームする場合は、市内全域を対象に補助率20%で、200万円を上限とする特別枠を設定しているが、さらに中心市街地の空き家をリフォームする移住世帯、新婚世帯、子育て世帯を対象に、補助率30%で300万円を上限とする特別枠を新たに設定するものである。これにより、人口減少と高齢

化が周辺部よりも進んでいる中心市街地への若者の移住、定住を促すものである。

蓄養魚流通モデル事業補助金とは

委員 事業内容は。また、漁港内での蓄養(※3)の可能性は。

農山漁村振興課長 同事業は、蓄養による出荷時期の調整や、活魚出荷を行う体制の構築を目指すものである。具体的には、由良と鼠ヶ関市場内に設置した水槽でズワイガニ等を蓄養し、高値の時期に出荷するなどの実証を行うものである。また、漁港での蓄養は、稼働率が低い港での実施が想定されているが、港内の砂の堆積等の課題もあるため、漁港の再整備も含めて県、漁協、漁業者等の関係者と検討を行う。



鼠ヶ関市場内に設置された蓄養水槽



蓄養水槽で飼育されたズワイガニ

※3 蓄養…捕まえた魚類や甲殻類、貝類などを生けすや小さな池などで短期間飼育すること。

総括質問

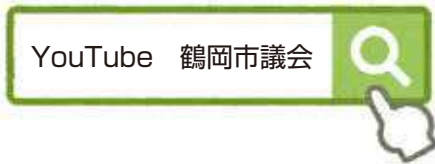
市長提出議案に対して、会派を代表して8人の議員が質問しました。
各議員1項目について概要をお知らせします。

YouTube

「鶴岡市議会チャンネル」



本会議の生中継・録画配信を行っています。



質問は市議会ホームページ等で公開している録画配信や会議録で全てご覧いただけます。原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

2025年問題 福祉と医療をどうするか

創政クラブ 佐藤 博幸 議員



議員 団塊の世代が75歳以上になり、高齢者を取り巻く課題の増大が見込まれる。障害者福祉や児童福祉等との一体的な相談窓口として、地域包括支援センターの大胆な改革が必要では。

市長 複雑・複合化する地域課題に対応するため、高齢者中心の相談対応から、悩みを抱える全ての方に対応できる体制への転換を図ることが重要と考える。7年度に見直しを行う地域福祉計画や、検討中の第二学区コミセン移転改築の中で、改革の方向性を検討していきたい。

議員 在宅医療や日常的な診療を行うかかりつけ医機能などの地域医療体制を整備するに当たり、荘内病院の方針は。

病院事業管理者 地域の医療従事者等との連携強化、能力向上に対する支援とともに、専門治療に対応できる認定看護師の育成を図り、在宅医療に対応できる体制の整備を進めていきたい。

ほかの質問

人口減少社会における
施政方針

新学校給食センターの事業手法の見直しを

日本共産党鶴岡市議団 長谷川 剛 議員



議員 新学校給食センターの事業手法について、調理・配送・維持管理等を民間委託するDBM方式（※1）に至った理由は。また、民間委託をすることで、多くの女性職員が働く同センターの公務労働者が削減され、若者や女性に選ばれるまちを目指す本市の方針に逆行するほか、同センターで職員が培ってきたものが失われるのでは。

市長 新学校給食センター整備基本計画については、熟慮した結果、調理業務を民間委託するという記載については見直しを行う。検討の時間が足りず、また、市民参画の検討という意味でも不十分な記載となってしまう。そのため、7年度に調理に関する専門家を含む運営準備委員会を立ち上げ、改めて調理を担う主体、方式、教育等の具体的な内容について、確実な質の向上と持続可能性の観点から検討し、7年度中に結論を得る。

ほかの質問

市政運営の基本姿勢、
物価高騰対策、
教育環境の整備 など

※1 DBM方式…デザインビルドメンテナンス方式。公共が資金調達を行い、施設的设计・建設を民間事業者へ発注する。公共が施設を所有し、施設の運営を行うが、施設運営のうち運転管理を除く維持管理（施設設備の補修等機能維持）を民間へ委託する。

社会変容で複雑多様化した課題への対応は

鶴岡市議会公明党 **富樫 正毅** 議員



議員 教員が心理学や福祉の専門スタッフ等と連携できる体制を整備し、学校機能を強化していく

ことが重要である。例えば、相談支援が必要な家庭があっても、学校が踏み込むことが難しい状況がある。そこで、スクールソーシャルワーカー（※2）（SSW）の育成及び配置を進めるべきと考えるが、見解は。

教育長 学校が介入することが難しい家庭の場合、SSWの働きというのは非常に大切である。家庭と学校がつながる、また、本人と社会がつながることが非常に難しくなっている現状がある。教育長会では、大学等にSSW等の育成のお願いをしているが、就職先の確保等が課題となっており、難しいとのことである。社会全体でSSWの必要性を考えていかなければならないと感じており、本市としても増員をお願いしたいと考えている。

ほかの質問

重層的支援体制整備事業

※2 スクールソーシャルワーカー…教育の分野に加え、社会福祉に関する専門的な知識や技術を有する者で、問題を抱えた児童・生徒が置かれた環境への働き掛けや、関係機関等とのネットワークの構築など、多様な支援方法を用いて課題解決への対応を図っていく人材。

農産物等のロンドン市場開拓の現状と今後は

希望のつどい **佐藤 麻里** 議員



議員 継続中のロンドン市場開拓チャレンジ事業の現状、また、可能性をどう分析しているのか。

市長 ロンドンは、日本国内の競合産地が少なく、在留邦人が令和5年で世界第5位の3万2,000人と、日本食を受け入れる土壌ができてきたところがあるほか、健康志向、円安等の影響もあり、日本食材にとって有望な市場であると捉えている。昨年開催した販売イベントで、試食が購入につながる可能性を感じ、試食を通じたシテイクプロモーションは効果的だと分析している。

議員 欧州が市場となり得るのか、今後の販路拡大の展望は。
市長 ロンドンの取組で得られた経験を生かした検討が必要と考える。一方で、東南アジアを中心に全農や大手商社を通じた輸出が行われており、販路開拓を志す事業者の実情をジェットロ（※3）などから聞きながら、支援策を検討していく。

ほかの質問

防災・減災対策、予防接種事業、移動手段の確保

※3 ジェトロ…独立行政法人日本貿易振興機構。貿易・投資促進と開発途上国研究を通じ、日本の経済・社会の更なる発展に貢献することを目指す支援機関。

過疎地域の活性化に向け集落支援員の増員を

リベラル **本間 信一** 議員



議員 本市の過疎地域の状況をどのように認識しているか。
市長 国では、過去25年

間の人口減少率が21%を上回る等の要件を満たす地域を過疎地域と定めており、藤島・朝日・温海地域が該当している。過疎地域では人口減少や高齢化が進み、地域活力の低下や文化の継承者不足、空き家の増加など、あらゆる分野に影響を及ぼしている。

議員 集落支援員制度の現状は。
市長 国では、全国的な過疎化の現状を踏まえ、集落への目配り役として、市町村職員と連携して活動する集落支援員制度を設け、その経費は、特別交付税で財源措置されている。本市では、朝日と温海地域に1人ずつ配置し、これまで朝日地域8集落、温海地域13集落の集落ビジョン策定の支援を行っている。

議員 集落支援員増員の考えは。
市長 特別交付税措置も考慮し、研究・検討する。

ほかの質問

農業政策、若者・子育て世代に選ばれるまちづくり

業務量の増に対する職員体制の考えは

市民フォーラム **工藤 博** 議員



議員 7年度予算に計上されている主な重点事業の中には、新規及びレベルアップ事業が1000事業あり、それらの予算額の合計は171億円を超えている。職員の業務量が6年度に比べて増えることが想定されるが、職員体制についてどのように考えているのか。

市長 各事業については、毎年度、各部署において内容を精査し、組織的な実行可能性を考慮した上で積み上げを行っている。職員体制については、業務量に応じた人員配置の見直しに努めており、7年度においては、中心市街地の活性化や観光、地域包括ケア推進等の業務体制強化と、それらの業務の着実な予算執行等の観点から、当該部署の増員を検討している。また、業務全般にわたってデジタル化を進め、事務の効率化による業務量の削減を図っていく。

ほかの質問

なし

市民参画と職員の意識変革で「公民共創」を

SDGs 鶴ヶ岡 **田中 宏** 議員



議員 公民共創の推進に向けて、市民参画の促進と、本市職員の意識変革にどう取り組むのか。

市長 行財政改革推進委員会の会議をネット配信するなど、行政評価の過程を提示して市政の透明性を高めるとともに、市民からの提案を受ける機会を増やしていく。民間のノウハウを生かす公民共創の視点は重要であり、鶴岡まちなかキネマの再生や新図書館基本構想の策定等においては、多様な主体と連携してきた。7年度は、公民共創のまちづくり推進のため、本市職員が地域貢献活動等に参加しやすい職場環境の整備や、副業・兼業許可制度の見直しを行い、併せて職員研修も実施していく。

議員 市民参画を促進するため、パブリックコメントのタイミングを前倒しする考えは。

市長 市民の意見を反映させる観点から、より良い方法を検討していきたい。

ほかの質問

新年度予算と総合計画の連動

日本一の給食が作れる学校給食センターを！

市民の声・鶴岡 **草島 進一** 議員



議員 新学校給食センターは、建設と維持管理を民間委託するDBM方式で進めるとしているが、

私は、給食発祥の地であり、ユネスコ食文化創造都市である本市は、自校給食に切り替えること等も検討して、日本一の給食を目指すべきと主張してきた。食材選定や調理、児童・生徒の口に入るまで、日本一と言える給食の実現を目指す考えは。

市長 新学校給食センター整備基本計画については、調理業務を民間委託するとの記載は見直す。7年度に、調理や栄養分野の識者や生産者、学校関係者、保護者等で構成する運営準備委員会を設置する。先駆的な取組である武蔵野市給食・食育振興財団の運営等を参考とし、在来作物や安全に配慮した食材調達や、本市の食文化を取り入れた献立作成、児童・生徒への食育指導などによって、日本一の学校給食センターを目指していく。

ほかの質問

農業政策、農福連携、新図書館 など

公共温泉施設の料金改定 民間施設への配慮は

おのよしお
小野由夫 議員



議員 公共温泉施設の利用料金改定に当たり、民間施設の運営に十分配慮したのか。

副市長 料金改定の背景として、物価高騰のほか、コロナ禍以降の入浴者数の落ち込みや、施設の老朽化による大規模な修繕等が見込まれていることなどがある。民間施設も同様の事情で経営が厳しいことは認識しており、民間施設が値上げしている実態も考慮し、このたびの料金改定を判断している。

議員 目的税である入湯税の用途は。

副市長 5年度は、観光振興費に85%、残りを消防施設及び環境衛生施設整備費に充てている。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●
なし

ソライの利用料軽減 客観的な公平性は

さとうまさや
佐藤昌哉 議員



議員 利用料金を安くしてほしいという市民ニーズに事業者が応えられないからといって、市が一民間事業者に税金を投入することに違和感がある。パブリックコメントでも不適切という意見があり、市全体を俯瞰し、客観性や公平性の観点から、慎重な対応が必要ではないか。

市長 ソライの利用料軽減は、子育て世代の多くの方が期待し、要望している。平成27年度から事業者と打合せを行っており、庁内で何度も議論している。民間事業者だから支援するのはおかしいというのは、これまでの経緯から考えても、極めて不適切な主張だと考える。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●
新産業団地の整備

※3 SEL教育…社会性と情動性の学習(Social Emotional Learning)を指し、自分の感情を意識して上手に調整する力や、良好な人間関係を築き、維持し、修復する力などを育てる教育。

高校卒業後に地元就職 する若者への支援は

さとうひさき
佐藤久樹 議員



議員 本市は、若者の地元回帰を促進するため、奨学金返済支援制度を創設したが、高校卒業後に地元就職し、地域経済を支えてくことを希望する若者への支援として、運転免許証の取得費用の一部助成などを行う考えはないか。

商工観光部長 6年3月の高校卒業生1,256人のうち、庄内地域への就職者は227人であった。地元就職希望者を増やすためには、若い世代の意向を聞き取りながら、多面的な支援が必要と考える。運転免許証取得の費用助成については、費用対効果の検証や事業実施前後の世代との不公平感等に配慮しながら、研究していきたい。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●
人が集えるイベントの開催

児童・生徒の減少で 学校教育の在り方は

ほんま しんべえ
本間新兵衛 議員



議員 児童・生徒の減少が著しい温海地域や豊浦地区の学校教育をどのように進めていくのか。

教育長 少子化への対応は、全市的な学区再編や学校統廃合ではなく、各地域の実情に応じて検討していく。温海地域では、問題解決能力等を育むSEL教育(※3)や、小学1年から中学3年生までの学びの連続性を大切にした教育を進めている。豊浦地区では、保育園、小・中学校が同じ目標に向かい子供たちを育成する豊浦SKY(※4)プランに取り組んでいる。今後も、地域の特性を生かした学びの中で、学力等を身に付けさせていきたいと考えている。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●
廃校舎への対応、土砂災害危険箇所の対応

※4 SKY…S:三瀬、K:小堅、Y:由良

議会傍聴アンケート

3月定例会を傍聴した方から寄せられたご意見・ご感想（一部抜粋）を紹介します。

- 中継で見るより議場での動きが分かり良かった。重複した質問内容が多い。会派の数が多すぎると思う。
- もう少し具体的な話が聞きたい。市当局にどう考えているかを聞くだけでなく、議員の意見があると良かった。
- 鶴岡市の課題や事業の方針が分かった。議員は指摘するだけでなく、建設的な提案をするスタンスで取り組んでほしいと思う。地域コミュニティづくりはまず議員から始まるのではないか。



傍聴の様子

日本版ライドシェアの導入は

えん どう はつ こ
遠 藤 初 子 議員



議員 近年、日本版ライドシェア（※5）を導入する自治体が増えている。国土交通省は、交通空白地域の解消に向け、未着手の自治体に伴走支援を行う方針を打ち出している。本市でも導入を検討する必要があると考えるが、見解は。

企画部長 市内のタクシー事業者からは、日本版ライドシェアを導入することで、新たにドライバーの教育や労務管理、車両の管理が必要となり、事業者に掛かる負担が大きいという意見がある。こうした状況の下で、直ちに導入するには課題が多いと考えており、制度や先行事例について研究していく。

ほかの質問

燃料高騰の影響

※5 日本版ライドシェア…地域交通の「担い手」「移動の足」不足解消のため、タクシー事業者の管理の下で、自家用車・一般ドライバーを活用した運送サービスの提供を可能とする事業。

質問力を高める 議会力に生かす ～議員研修会を開催～

2月28日に、法政大学法学部教授 土山希美枝氏を講師に招き、議員研修会を開催しました。「質問力を高める 議会力に生かす」をテーマに、一般質問の中で効果的に問題提起や政策提案をするための様々なテクニック等について、ご講演いただきました。また、議員間での意見交換、付箋を使った質疑応答も行われ、今後の議会活動において大変参考になる研修となりました。



研修中に出た意見・質問を全員で共有

2月臨時会の概要

2月14日に2月臨時会を開催し、予算議案2件の審議を行いました。提案説明の後、質疑を行い、表決の結果、承認及び可決しました。

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第1号	令和6年度鶴岡市一般会計補正予算（専決第3号）の専決処分の承認について	省 略	承認 (全員賛成)
議第2号	令和6年度鶴岡市一般会計補正予算（第7号）	省 略	可決 (全員賛成)

議場からシルクの魅力発信 ～シルク議会を初開催～

明治期、旧庄内藩士が刀を^{くわ}鉾に持ち替えて開拓した松ヶ岡の開墾により、鶴岡に絹産業が興りました。今なお紡がれる絹のストーリー「サムライゆかりのシルク」は、平成29年4月に日本遺産に認定されています。

市議会では、サムライゆかりのシルクの認知度向上と本市シルク産業の振興を目的として、令和7年3月定例会を「シルク議会」と銘打ち、初開催しました。初日の3月4日は、議長、市長をはじめ出席者全員がシルク製品を着用して本会議に臨みました。



6月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10 本会議 (開会・総括質問) 予算特別委員会	11	12 本会議 (一般質問)	13 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	14
15	16 本会議 (一般質問)	17 総務 常任委員会	18 市民文教 常任委員会	19 厚生 常任委員会	20 産業建設 常任委員会	21
22	23 常任委員会 予備日	24	25 議会運営委員会	26 予算特別委員会	27 本会議 (表決・閉会)	28
29	30	7/1	2	請願・陳情 提出期限 6月3日(火)午後1時		

※各会議の開会時刻は午前10時です。
午後にわたる場合は1時間程度の休憩をはさみ再開します。
※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

編集後記

3月4日、出席者全員がシルク製品を着用したほか、議場をシルクのカフェやパネルで装飾して、令和7年3月定例会は華やかに開会しました。7年度一般会計予算案は、訂正及び修正の上で可決しました。新学校給食センター整備事業と、

民間の屋内遊戯施設の利
用料軽減事業については、
特に慎重な審査を行いま
した。議会だよりやユー
チューブなどで議論の内
容を是非ご覧ください。
広報広聴委員会委員
本間 正芳



シルクのスカーフで装飾した演壇

発行／鶴岡市議会 編集／広報広聴委員会
〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25
電話 0235-35-1908 FAX 0235-25-2123
メールアドレス gikai@city.tsuruoka.lg.jp